



衆議院議員 神奈川大学講師 NHK政治部記者出身

池田元久



衆議院議員・池田元久事務所

横浜事務所/〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-30
TEL 045-371-1000 FAX 374-0100

国会事務所/〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第1議員会館543号
TEL 03-3508-7903 FAX 3508-3643

衆議院議員 **池田元久** の活動報告

ACTION

REPORT

POLITICAL REPORT BY
IKEDA-MOTOHISA

SUMMER 2002



今こそ経済再生へ

住宅ローン大幅減税を

政府は、五月十七日景気の「底入れ」を宣言した。これは、鉱工業の生産が昨年史上最大の落ち込みを示した反動の面がつよい。むしろ現実には、消費が冷え込み、世帯主の失業がこれまでで最も多くなるなど深刻だ。大手銀行も準備金をとりにくすなど体力ギリギリのところに来ている。

こうした深刻な情勢に対して、政府と自民、公明など与党は、税制の論議でも表面化したように混乱が見られ、無策に陥っている。失われた政策と先行きに対する信頼を回復して国民の不安をなくすことが何より必要だ。今こそ、目標をしっかりと定めた具体的な日本経済の再生策を打ち出してゆきたい。

まず金融については、見せかけの資本を除いて銀行の実態を早急に把握した上、再建の可能性の乏しい銀行は正常債権をもつ新銀行と不良債権をもつ旧銀行に分ける。経営体質を根本から改め新しいビジネス手法も

導入し、銀行の金融仲介機能を回復してゆく。国民の働く場を広げ適材適所の仕事につけるよう教育を充実させるとともに、廃棄物処理施設の計画的整備など生活優先の事業を行う。さらに、省エネや環境保護などを目的にした規制と税制を設け、研究と開発を奨励して新しい市場をつくってゆく。

また、住宅ローンをかかえている世帯の消費支出が落ち込み、一九八五年以前の水準に戻ってしまった。そこで、新築や購入の際ばかりでなく既存の住宅ローンについても支払い利率の所得控除を行う。これにより、全国千五百万世帯(全体の三五%)の負担は軽減され、消費を抑えている重しがとれることになる。

閣僚発言バラバラ 経済無策を追及

池田元久衆議院議員は、一月二十四日予算委員会での民主党の第一陣として質問。焦点の銀行に対する特別検査をめぐる森金融庁長官が首相に強硬な方針を表明



予算委員会で質疑を交わす池田元久議員と小泉首相

閣僚発言バラバラ 経済無策を追及

しながら、銀行側には正反對のことを言っている問題の先送りをはかっていること追及。審議が一時中断した。

また、二月二十六日の予算委員会で池田議員は、大手銀行の健全度を米回並みの基準で計算すると殆どの銀行が不健全な銀行になることを明らかにした。その上で、池田議員は、銀行の資本が不足しているかどうか、公的資金の投入が必要かどうかについて小泉内閣の閣僚の足並みはバラバラで経済政策をまかせるとはできないと批判した。

私は変えたい。今こそ! 市民派パワーズ IKEDA MOTOHISA PROFILE



神奈川県生まれ。県立湘南高校を経て、早稲田大学政治経済学部を卒業。NHKに入り、金沢、札幌に勤務後、報道局政治部記者、総理官邸、衆議院、各党、各省を担当し数多くのスクープを重ね活躍。会長室にも勤務。

九〇年旧神奈川県四区から衆議院議員に初当選。政治改革の提言をいち早くまとめ、更に空域封鎖下のイラクを訪問し人質の解放を交渉。水源地の道志村ゴルフ場計画を断念に追い込む。「ニューウェーブの会」の代表幹事、「シリウス」の副代表などを務める。

九六年、二〇〇〇年の総選挙で神奈川県六区(保土ヶ谷区、旭区)から当選。大蔵委、行政改革特別委、金融安定化特別委、予算委の各理事を歴任。日本発金融恐慌を防ぐ金融再生四法を立案、成立を果たす。

国家基本政策委(党首討論)理事。民主党国際局長。県国会議員会議議長。神奈川大学経営学部講師も務める。

◆好きな花:バラと蘭
自らも栽培していた。

◆好きな色:鮮やかなブルー。湘南の碧い海を連想させるから。

◆好きな人物:ジョン・F・ケネディ。彼が好んだ「力をもって、穏やかに口を開け」という言葉を、「誠実」と共に自らのモットーとする。